

組 織 部 報 告

労働組合の健全なる発達はその組織の擴大強化にあるは論を待たぬ。如何にその組織の健全なる発達を期すやうとも烏合衆では何のたれものもなし。専守の攻勢と守勢とを兼ねて進歩の道を歩むべきである。労働者各人の団結の力の外は何物でもない。労働組合の健全なる発達には、各支部に於ては種々の事情と困難もあること、思ふが如く克服せしめ、其の力を増進の獲得すべく盡力せしむること第一と望む所である。

最近組合員の増加した支部（ヤ田、加八、大被）があるが、若狭連隊者には依りながら、其他の支部はより多少減少を呈した支部もある状態である。全体としては大した変化はない。尚各支部は組合員も少なく支部として獨立して活動すること困難な爲め、本部直偏に任せてある。

本会の組織委員は左表の通り十支部三十五百二十八名である（内女四百二十名）

向 上 会 組 織 現 状 (昭和九年五月廿日現在)

支部名	組 立	職 場	組 合 員	支 部 長	幹 事 長	計
第一支部	昭和九年	製糖事務所	〇	依田与志		
第二支部	〇	火四五六	〇			
第三支部	〇	火一、二	〇			
第四支部	〇	彈 二	〇			
第五支部	〇	火、三	〇			
第六支部	〇	會計技師 作 泉	〇			
第七支部	〇	鉄一、二、三	〇			
第八支部	〇	砲一軍用所 病 院	〇			
大被支部	大正九年	被服支廠	〇			
兵器支部	大正十二年	兵器支廠	〇			
直 偏	大正十二年	〇	三五四二			

松村勘助	牧谷武之	八幡一三三
尾崎喜太郎	中野友七	村田武治
安部武雄	山中勘次郎	荻原豊藏
阿部豊太郎	島田作太郎	阿部豊太郎
秋丸爲美	山崎儀雄	久芳京次郎
長宗清一	岩城是太郎	大山六藏
阿末平八	依田金藏	角川光治
辻井栄三郎	川野 豪	大野龜次郎
植田隆松	杉本馮次	岩崎半二郎

調 査 部 報 告

左表は陸軍連兵廠の各工廠に於ける従業員数であるが、青森、二万一千四百十一名、岩手、臨時工の一万九百二十四名は、三將系臨時工問題として注意すべき重大な問題である。